



学校だより 稲穂

令和元年 12月16日 第10号

市川市立平田小学校

校長 杉本 雅彦

幸せになる権利

元号が平成から令和に変わった亥年も残りわずかとなりました。あっという間に年の瀬がやってきた感じです。4月からの8カ月を振り返り、次年度に向けての計画を立てる時期でもあります。学校も保護者の皆様にご協力いただいた“第2回学校評価”を励みに、新年の準備を進めたいと思います。

さて今年も12月初旬は人権教育を推進してきました。(12/4~10は人権週間)11月29日(金)の全校集会で、私からは下記の内容を話しました。(「2~6年生には昨年も同様のテーマで話しましたが、この1年間で成長した皆さんが、何を思うか楽しみにしています。」と前置きをしてから…)

「人権」とは、誰もが生まれながらにして持っている権利のことです。男の人も女の人、肌の色が白い人も黒い人も、若い人もお年寄りの人も、どんな人でも等しく持っているもの。簡単に言えば、世界中の全ての人が、人間として命が大切にされ、幸せになる権利のことです。



この人権週間は第二次世界大戦が終わった3年後の1948年、国際連合がどの国の人も人権を守ろうと12月10日に世界人権宣言を出したことがきっかけで始まりました。私たちは知らないうちに人を差別していないでしょうか。自分がされて嫌なことはしてはいけません。実は、アメリカ合衆国にキング牧師という人がいました。1960年代、当時アメリカで行われていた人種差別に対して、武器を持つのではなく、非暴力(デモ)＝武器を使わない手段で訴え、差別がなくなるように働いた人です。当時黒人が白人の乗るバスの席に座ってはいけませんでした。レストランの席も分けられていました。キング牧師の有名な演説があります。それは、『I have a Dream~』というフレーズで始まります。『私には夢がある。』という言葉で始まる演説は当時の人々を一つにまとめ、多くの人々がその考えに共感し、差別がなくなるように働きかけました。ところで「いつの日か肌の色で差別される日がなくなるであろう」というキング牧師の夢は実現したのでしょうか？(実現した！まだしてない！！の声が…)世界の国々を見ると、決して実現したとは言えません。人が自分と違うことを認めること、それはとても大事なことです。一人一人にその人なりの良さがあるのです。この人権週間に、自分は毎日どんな態度や考え方で過ごしているか、また友達を傷つけていないか、みんな仲良くしているか、振り返ってみましょう。(最後に校長室のカレンダーの言葉を紹介しました。ケンカしている子がいると聞いて…)『ありがとう。ごめんなさい。当たり前のことなのに、素直に伝えるのはむずかしい』お話を終わります。」



ご家庭や地域の皆様も幸せになる権利＝人権について考えてみてください。

被爆体験の話 ～6年生の心が震えた～

11月11日(月)、今年も市川被爆者の会の「井上勇」さんをお招きして被爆体験の話を聞きました。井上さんは1945年8月9日の長崎において被爆された経験を、資料を提示しながら話してくださいました。爆心地から2km離れた場所だったこと、咄嗟の行動が生死を分けたこと、被爆後の街を一緒に働いていた女性に背負われたこと、街は地獄絵だったこと等を熱く語ってくださいました。静かに聞く6年生の表情も真剣でした。「二度と戦争を起こしてはいけません。」という井上さんの言葉は重く、心に突き刺さりました。「校長室でも『平和の尊さ、命の大切さ』を伝えるために、自分にできることを続けていく。」と話されました。貴重な時間を過ごせました。



読書週間 ～出張お話し会～

11月1日～15日まで、平田小学校では「秋の読書週間」を実施しました。この期間は、図書委員を中心に「読書郵便」や「辞書引き大会」などの取組を行いました。14日には、たんぼぼ学級と1～3年生を対象に、中央図書館の方が出張お話し会「おはなしバスケット」を実施してくださいました。どの学年の児童も、お話の世界に引き込まれて集中して聞く姿が見られました。



平田町会避難訓練 ～いざという時のために、日頃の備えを～

11月17日（日）に平田町会の避難訓練が平田小学校を会場として開催されました。北風が吹き冷たい一日でしたが、この日は煙中体験、地震体験、通報訓練、消火器体験、心肺蘇生法研修などが行われました。たくさんの地域の方とともに、平田小児童の参加もありました。平田小学校は、小学校区防災拠点であり、災害時には、避難場所、避難所となります。今年度は300名近い方の参加がありました。災害時の対応について、日頃からご家庭で考えてみてはいかがでしょうか。



デフ・サッカー教室 ～3年生が聴覚障がいを楽しく理解～

11月25日（月）3年生はデフ・サッカー選手の松元卓巳さんを講師としてお招きし「デフ・サッカー教室」を開きました。2時間目は、マルチルームで松元選手の講義を聞き、聴覚障がい者のサッカー大会であるデフリンピックがあることや、耳が不自由な人と話をする際に気をつけることについて理解しました。3・4時間目は、学級ごとに松元選手と一緒にゲームやサッカーを行いました。耳栓をつけて、実際に声が聞こえない状況でのコミュニケーションの取り方や、相手を思いやる気持ちを学びつつ、楽しく運動することができました。その後、3年2組の子どもたちと一緒に給食を食べながらの交流をしました。



教育委員交流会 ～5年生の総合的な学習を参観～

12月3日（火）に教育委員交流会があり、平田史郎委員と山元幸恵委員が来校されました。平田小が2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて学習を進める中、パラスポーツをきっかけに、障がいへの理解や平等への考えを深める授業を5年生が展開しました。今回は『できないをできるに！』をテーマにした教材、I'm Possibleを活用して学習しました。パラアスリートたちの、



「障がいは個性、できないことよりできることに目を向ける。」前向きな姿勢に心動かされた子供たち。また、平等について自分たちの問題と捉え、真剣に議論する子供たち。この様子をご覧になった二人の教育委員からは「子供たちの反応の良さと、たくさんの対話の場面を目にして感心しました。」とお褒めの言葉をいただきました。私も子供たちが成長している手応えを感じました。2クラス共、委員の方と給食も一緒に食べながら、有意義な時間を過ごすことができました。

12月の予定（詳細は各学年だより等参照）

日	曜	行事	日	曜	行事
3	火	教育委員交流会（5年オリ・パラ授業参観） 6年キャリア教育①、5年ホワイトスクール保護者説明会	16	月	学校運営協議会Ⅳ 通級個別面談（12月16日～1月10日）
4	水	PTA役員会・実行委員会 八中職場体験、委員会活動	17	火	ヘルシースクール（5校時）
5	木	5年ホワイトスクールウェアサイズ合わせ、給食日引落日	18	水	1年昔あそび
6	金	3年学校支援実践講座、6年キャリア教育② まなびくらぶ	19	木	大掃除
			20	金	短縮5時間授業、給食最終日
9	月	全校5時間授業（～13日）	21	土	資源回収日
10	火	教育相談日（～13日）、5年学校支援実践講座 2・4年人権教室	23	月	2学期終業式
13	金	3年小中高連携特別授業（市川工業高校生） 6年キャリア教育③、まなびくらぶ	24	火	冬季休業開始（～5日） 冬休みまなびくらぶ（～26日）
			26	木	市管弦楽フェスティバル（市文化会館）
※11月～12月にかけての教育活動は、1月号にも掲載予定です			28	土	学校無人化（～1/3）
			31	火	大晦日